

「カエルとうたってる」

須萱 伊咲 (すがや いさき) 5歳

敬愛保育園
(四州教区)

●表紙のことば●



おお はし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科

雨の中、かわいらしい傘を持った女の子が、寄り添うカエルやバックコーラスのように並んでいるカエルたちと楽しそうに歌っています。まるで、ミュージカル映画『雨に唄えば』の一場面のようなです。大人にとってはどうとうしい梅雨時かもしれませんが、いさきさんにとって、かわいい傘を持ち、長靴を履いて、水たまりをバシヤバシヤ歩いて…と楽しい特別な日になるのでしょう。「雨の好きなおともだち」という先生の言葉から連想して描いたそうです。女の子は大好きなお姉さんだそうです。それだけに、傘の形や模様、洋服の柄など、心を込めて丁寧に描いています。カエルたちも、お姉さんも、同じように大きく口を開けて楽しそうに歌っています。傘の下には雨はかからないようになっています。地面には水たまりができています。この絵を描いたその日も雨だったようです。こどもたちは、雨の音に耳を傾け、水たまりに足をつけ、梅雨の季節の自然の様子を身体で感じる活動を楽しんできたそうです。